

報道関係者 各位

平成 31 年 1 月 11 日

【照会先】

九州厚生局健康福祉部

地域包括ケア推進課

課長 山内 強

推進官 岩佐 裕之

電話 092-432-6784 (直通)

**「平成 30 年度第 7 回九州厚生局地域包括ケア市町村セミナー」  
を 1 月 25 日に長崎県で開催します  
～顔の見える日常の見守り支援について～**

厚生労働省九州厚生局は、平成 31 年 1 月 25 日（金）に、地域包括ケアシステム構築の推進を図ることを目的として、市町村の担当職員を対象に、平成 30 年度第 7 回九州厚生局地域包括ケア市町村セミナーを下記のとおり開催します。

記

1. 主 催：九州厚生局
2. 共 催：長崎県
3. 開催日時：平成 31 年 1 月 25 日（金） 13 時 00 分～17 時 00 分
4. 開催場所：長崎県庁 1 階 大会議室 A・B  
(長崎県長崎市尾上町 3-1)
5. テーマ：顔の見える日常の見守り支援について  
～一人ぼっちの高齢者を無くすために～
6. ねらい：認知症施策については、新オレンジプランに沿って自治体ごとに多様な取り組みを推進していただいているが、それらの施策をより効果的にするのが「日常的な見守り支援」である。日常的にきめ細やかな見守りを実施することで、対象者のニーズや変化にいち早く気づくことができ、適切なサービスに繋げることができる。  
今回は、関係機関と連携しながら、日常的に顔の見える見守り支援を実施し、各種施策やサービスに繋いでいる事例を紹介する。

7. 対象者：九州厚生局管内の市町村職員、社会福祉協議会職員、認知症地域支援推進員等（県庁職員、関係機関等の傍聴可）

8. プログラム概要

- (1) 開会挨拶 13:00～13:15【九州厚生局】【長崎県】
- (2) 実例報告 13:15～14:15【NPO栄町地域づくり会】  
「高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちを目指して～支え合いによる心温まるまちづくり～」
- (3) 実例報告 14:15～15:15【益城町地域支えあいセンター】  
「普段からの地域とのつながり  
～震災発生から復旧・復興期の見守り支援をとおして～」
- (4) グループ討議 15:25～16:50
- (5) 連絡事項 16:50～17:00

9. 取材にあたっての注意事項

(1) 原則として、別紙1の「取材申込書」を事前に九州厚生局健康福祉部地域包括ケア推進課まで提出してください。

(2) 当日の取材にあたっては、別紙2の「取材注意事項」に留意してください。

【実例報告団体について】

○NPO栄町地域づくり会

佐賀県伊万里市栄町地域の地区住民で組織された団体で、高齢者が生きがいを持って安心して住める街づくりを推進するために、支えあいによる支援活動に取り組んでいます。

具体的な活動内容としましては、空き店舗を活用した「栄町ふれあい館（支温の家）」を拠点とした配食事業、リサイクル回収事業、宅配代行業等があり、それらすべての取り組みを地域の元気高齢者が担っている点も大きな特徴です。

○益城町地域支えあいセンター

熊本県内の18市町村では、熊本地震で被災した方々が、生活再建に向けて安心した日常生活を送れるよう、見守りや健康・生活支援、地域交流の促進などの総合的な支援を行う「地域支えあいセンター」を設置し、各地で活動しています。

益城町地域支えあいセンターは社会福祉協議会とNPO団体とで役割分担をし、仮設住宅や在宅の被災者の方々を巡回訪問した上で、様々な困りごとへの対応や、集会所を活用したコミュニティ・交流の場作りに取り組んでいます。

【参考】

○地域包括ケアシステムとは

地域の実情に応じて、高齢者が、可能な限り、住み慣れた地域でその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、医療、介護、介護予防、住まい及び自立した日常生活の支援が包括的に確保される体制をいいます。